

目次

巻頭特集
有料老人ホームを探すときに
まず考えておきたいこと 4

関東一円 使える! 見つかる!
1679件とつながるリスト
掲載情報の見方 9
住まい選びの あしすとリスト 10
東京都23区 10
東京都市部 17
神奈川県横浜市 21
神奈川県川崎市 26
神奈川県相模原市 29
神奈川県市部 29
千葉県千葉市 34
千葉県市部 36
埼玉県さいたま市 40
埼玉県市部 42
茨城県 46
栃木県 47
群馬県 47
山梨県 48

読者プレゼント 48

ご入居までの流れ 49
ご存じですか?
民間介護施設の分類条件 50

コラム ベテラン相談員のひとりごと
兄弟全員で考える、
両親の施設入居 51

チェック!
介護にいくらかけられる? 52
入居予算試算表 53

入居相談受付票 54

巻頭 特集
プロが教える
ぜったいに失敗しない
介護施設選び

有料老人ホームを
探すときに
まず考えておきたいこと

有料老人ホームが“高嶺の花”ではあったのは昔の話。施設数の急増によって、介護施設への入居は、私たちにとってより身近な選択肢になりつつあります。
今回は、経験豊かなベテラン相談員が、施設探しの大切なポイントをアドバイスします。

PROFILE



樋口 国陽
ひぐち くにきよ

(株)シニアサポート代表
有料老人ホーム紹介センター「ホームあしすと入居相談室」を開設。長年にわたり数多くの相談者に最適な介護施設を紹介してきた、施設選びのエキスパート。

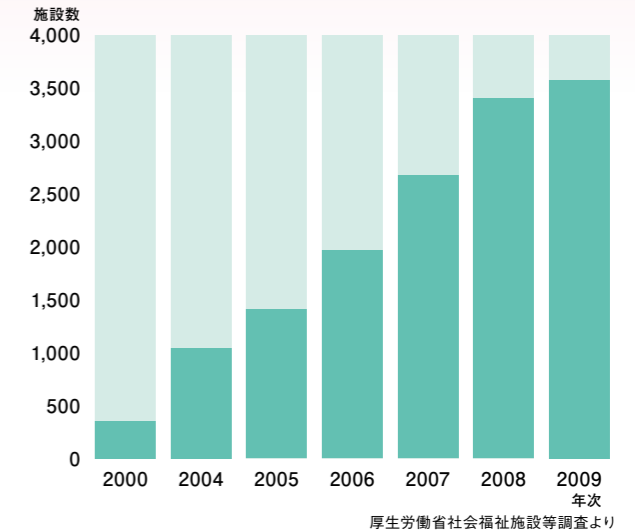
■10年で10倍に! 激増する有料老人ホーム

平成12年に介護保険制度が始まり10年以上が経ちます。この10年間で有料老人ホームのありようは大きく変化しました。制度ができた当時、全国の有料老人ホームの数は350施設でした。平成21年の最新の統計では、有料老人ホームの数は3,565施設です。10年間で10倍以上に増えていることが分かります。

その昔、有料老人ホームは入居時の費用、月額利用料ともに高額で、お金持ちのお年寄りのためだけの施設というイメージがあったように思います。ですが、介護保険制度ができてからは入居時費用が比較的安くなり、月々の費用も介護保険給付により軽減されたこともあって、以前より敷居が低くなったように思えます。一方、施設数が10

倍にも増えたことで、それぞれの施設の特色の違いが目立つようにもなりました。

有料老人ホーム施設数推移



2010年、杉並区にて行われた講演会の様子

■有料老人ホーム、どこが違うの？

老人ホームのうち、特別養護老人ホームを公立の学校に例えると、有料老人ホームは私立の学校にあたります。私立の学校がそれぞれの教育方針の下で授業を行うように、有料老人ホームでは、それぞれの運営母体により運営方針が微妙に違います。基本的なサービスは法律で決められていますから、各施設ともに同様に受けられます。介護保険に定められている特定施設である介護付き有料老人ホームは、サービスの基準がはっきりしているため比較検討が容易です。

もちろん価格の違いが一番はっきりしていますが、価格以外にもいろいろ特色のあるホームが増えてきました。5年前に有料老人ホームが新設されると半年で満床になるのが普通でした。施設数の増加により、近年は半年で満床になる施設が減ってきています。近年では、老人ホームをお探しの方にアピールする特徴のある施設に人気が集まって、より早く満床になる傾向があるように思います。施設の個性が多様化した分、入居を検討することが以前より難しくなったといえるでしょう。

●施設入居でいくらかかる？

有料老人ホーム探して最初に考えなければならぬのはもちろん**費用**でしょう。

入居時に必要な費用と月々にかかる費用のあり方は施設によってさまざまですが、「入居一時金を支払う＝永年施設利用権を購入する」という考え方は共通しています。入居一時金は、入居金や入会金などと呼び方が違うことがありますが同じものです。入居一時金は、基本的に地価に比例し、都心に近いほど高くなる傾向にあります。また、郊外でも広い敷地で豪華な建物、居室面積が広いなどの施設は入居一時金が高額になります。東京やその近郊の施設では、入居一時金の金額は

無料～数億円までと、大きく幅があります。

月額利用料は、24時間体制の見守りや食事などの最低限必要なサービスを考慮すると、少なくとも月額15万程度はかかると考えておきましょう。一般的には、入居時の費用ほど金額に差はありません。東京近郊の場合、月額費用が20万円前後の施設が一番多いようです。

●施設の場所、家族との距離は？

次に考えなければならないのが**施設の場所**です。これはご家族との関わりを考えて決めるとよいでしょう。ご家族の家からあまり遠くなってしまうと、頻りに面会に訪れることができません。

具体例として、以前ご相談いただいたケースを紹介します。入居者ご本人は都区内にお住まいで、ご長男は神奈川県に、ご長女は埼玉県にそれぞれお住まいでした。今住んでいる辺りが2人のちょうど中間地点なので、付近で適当な施設を紹介して欲しいとのご相談でした。ですが、これではどちらのお子様からも逆に遠い場所となってしまいます。入居当初は顔を見せに来てくれたお子様たちも、何年も経つうちに、だんだん足が遠のくことも考えられます。私は、どちらかのお子様により近い地域の施設を検討した方が良いのではとご提案し、最終的に世話になりたいお子様はどちらですかと、単刀直入にご質問しました。長女の方がいろいろ頼みやすいとのお答えでしたので、ご長女様がお住まいの埼玉県の施設をご案内しました。このようにご家族からの距離はとても大切だと思います。

●施設の特徴と自身のニーズは合っている？

もう一つ重要なポイントは、運営の違いによる**それぞれの施設の特徴**です。

例えば、見守りのノウハウに長けている施設。手厚い介護サービスで、認知症など常に見守りが必要な入居者でも安心して生活することが出来ます。反面、ご自分の状況をきちんと理解している方にとってはいつも見張られているようで居心地悪く感じるかも知れません。こうしたお元気な方の場合、付かず離れずの距離感での見守りと、じゅうぶんな共有スペース、広くてきれいな居室を持つ施設をご案内する事が多いです。話し相手になる他の入居者が同様にお元気であることも大切です。

糖尿病など持病を持っていたり、胃ロウなどの医療処置が必要な人の場合、介護だけでなく医療サービスが充実している施設が優先条件です。このような方にご案内するのは、24時間看護師が常駐しているか、病院が併設されている施設です。通院介助のシステムがしっかりしている施設もよいでしょう。

施設入居を検討する際のポイント

費用

入居一時金はいくらか？ 毎月かかる費用はいくらか？
資産と年金を計算して、払える金額の上限を試算する。

場所

面倒を見てくれる家族の生活圏から近いか？
都心からのアクセス、最寄り駅への所要時間なども考慮して、施設の立地条件、エリアを決定する。

特徴

施設のアピールポイントはどこか？
介護が手厚い、医療機関との連携が強いなど、サービスや施設面での特徴を整理する。



■自分にとってのベストチョイスを考える

すべての人にとって100点満点の条件を持つ施設はありません。ある人にとって最良の施設が、別の人にとっても同じだとは限りません。ですから、ご入居を検討されるときはこれらの項目だけでなく、サービス、環境、金額等をリストアップして優先順位をある程度決めておくとよいと思います。すべてを満たしている施設はなかなか見つかり

ません。「この条件だけは譲れない」など検討の順番を整理した上で見学に行くと、施設を比較検討しやすくなると思います。

最後に、相談室ではそれぞれのご相談様にとっていちばんピッタリの施設をご案内しています。色々な状況を勘案し、ご自身やご家族にとって一番過ごし易い施設をご提案したいと思っています。

下の表は、有料老人ホームだけでなく類似の施設をまとめたものです。ご検討時の一助になればと思います。

	種類	運営母体	説明
老人ホーム	特別養護老人ホーム		原則65歳以上で、身体または精神に障害があり常時介護が必要なものの居宅介護が受けられない状況にある高齢者が対象の施設
	養護老人ホーム	地方公共団体や社会福祉法人など公的機関	原則65歳以上で、主に環境上や経済上の理由により居宅において養護を受けることが困難な方を対象とする福祉施設
	軽費老人ホーム (A型・B型・ケアハウス)		原則として60歳以上で、無料または低額な料金で利用できる健康な高齢者でも入居できる施設
	有料老人ホーム	地方自治体から認可を受けた民間企業や団体	「健康型」「介護付」「住宅型」の3種類があり、一般的には60～65歳以上の方を対象としている施設。類型や施設によって自立者・介護者の入居制限があります(健康型は自立者のみ)。
その他の施設	介護老人保健施設	医療法人	病院を退院した後、リハビリが必要な要介護者が対象の施設
	介護療養型医療施設		長期療養が必要な要介護者が対象の施設
	グループホーム	市区町村など公的機関やNPO法人、民間企業など	65歳以上の要介護者で認知症の方が対象の施設
	高齢者向けケア付き住宅	地方公共団体・社会福祉法人・公団・公社	60歳以上で自立している方が対象の施設
	生活支援ハウス		60歳以上で、高齢等のため独立して生活することに不安がある方
	高齢者円滑入居賃貸住宅	民間企業や団体 (設置基準に基づいて申請されている)	高齢者の入居を拒否しないことで、バリアフリーや介護サービスの提供の義務付けなどはない住宅
	高齢者向け優良賃貸住宅		24時間緊急対応の通報装置が設置されるなど、高齢者が安心して居住できるバリアフリー型賃貸住宅
	高齢者専用賃貸住宅		高齢者円滑入居賃貸住宅のうち、高齢者を賃借人とする賃貸住宅
高齢者向け住宅	民間企業や団体	上記いずれにも該当しないマンションや施設などの総称	